

## 【 環 境 】

### 企業の環境への取り組みに関する調査：金融業グループ用

#### 《評価の視点》

環境面での評価については、大きく、環境マネジメント 環境コミュニケーション 環境パフォーマンスの3つの分野について、御社の取り組み状況を伺います。

まず、環境マネジメントの分野では、環境へ取り組むことについての方針や計画策定、組織など、基本的なマネジメント体制がどのように構築されているかを伺います。

一方、環境問題には各種のステイクホルダーが関わっており、とくに外部に向けた環境コミュニケーションへの姿勢が重要視されます。したがって、環境活動の透明性、アカウンタビリティを果たしていることも評価の視点となります。

さらに、方針や計画が、事業活動のなかでどのように実行されたかを測るのが、環境パフォーマンスの評価です。ここでは各種環境負荷データの把握、公開状況、各社における環境負荷の改善状況を評価対象とします。また、事業活動における環境負荷だけでなくグリーン購入・グリーン調達の実績なども含まれます。

上記のほかに、製品・サービス開発への環境配慮、環境ビジネスの展開などについても評価の対象として質問を設けております。

質問の構成

#### 環境マネジメント

【環境マネジメント】【環境会計】

#### コミュニケーション

【環境情報の開示】【地域社会などとのコミュニケーション】

#### 環境パフォーマンス

【環境負荷の把握と改善】【グリーン購入・グリーン調達】【リサイクルへの対応】

#### 環境配慮・環境ビジネス

【製品・サービスへの環境配慮】【環境ビジネス】【取り組みの改善】【自由記述】

#### ～ 関連資料添付のお願い ～

「環境報告書」「CSRレポート」など本調査に関連する資料がありましたら、評価の際の参考といたしますので別途ご送付ください。

#### ～ ご回答にあたってのお願い ～

御社におけるご方針や取り組みが本調査の選択肢に当てはまらない場合、最も近い選択肢を選び、必要に応じて自由記述欄にご記入いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

【お問合せ先】 特定非営利活動法人 パブリックリソースセンター (担当：杉田、田口、田島)

E-mail: sri-info@public.or.jp 電話: 03-5540-6256 (10時～16時)

御社「環境」ご回答担当者名 記入欄

( 後ほどお問合せさせて頂く場合がございますため、以下にご記入ください)

御社名		ご担当部署名	
ご担当者名	電話番号	ファクシミリ	E-mail

第7回(2008年度)

問1 御社の事業拠点についてお伺いします。(1つに )

1. 国外にも事業拠点をもっている
2. 事業拠点は国内のみである

問2 ご回答の前提としての情報把握の範囲についてお伺いします。(1~8の中から1つに )

1) 連結会社がある場合

( ) 持株会社で、ご回答の前提が傘下の一つの事業会社の取り組みとなる場合には5または6を選択してください。

1. グループ全体(海外を含む)
2. グループ全体(ただし国内会社のみ)
3. グループの主要な会社(海外を含む)
4. グループの主要な会社(ただし国内会社のみ)
5. 御社単体(海外を含む)
6. 御社単体(ただし国内のみ)

2) 連結会社がない場合

7. 御社単体(海外を含む)
8. 御社単体(ただし国内のみ)

<b>環境マネジメント</b>
-----------------

**【環境マネジメント】**

問3 環境マネジメントシステム(EMS)を構築していますか。(該当するものすべてに )

1. ISO14001を認証取得している **問3-1へ**
2. ISO14001の認証取得を準備中である **問4へ**
3. エコアクション21・KES・エコステージ・その他地域版環境認証のいずれかを認証取得している **問3-1、2へ**
4. エコアクション21・KES・エコステージ・その他地域版環境認証のいずれかの認証取得を準備中である **問4へ**
5. 自社独自の環境マネジメントシステムを構築している **問4へ**
6. 自社独自の環境マネジメントシステム構築を準備中である **問4へ**
7. 環境マネジメントシステムを構築していない **問4へ**

問3-1 [問3で1または3を選択された場合のみ対象]環境マネジメントシステムを構築している件数と該当する事業所数、および御社の事業活動に関わる全事業所数を教えてください。それぞれ、問2でお答えいただいた情報把握範囲内の数でお答えください。

- ・環境マネジメントシステムの構築件数( 件 )
- ・該当事業所数( 箇所 )
- ・全事業所数( 箇所 )  
構築割合( % )(自動計算されます)

問3-2 [問3で3を選択された場合のみ対象]認証取得しているEMSをお答えください。(該当するものすべてに )

1. エコアクション21
2. KES
3. エコステージ
4. その他[ ]

問4 環境に特化した方針を文書化し、公開していますか。(1つに )

1. 文書化し、公開している、または個別に要望を受けた場合に公開する

第7回(2008年度)

2. 文書化しているが、公開を前提としていない
3. 理念などに趣旨は盛り込んでいるが、環境に特化した方針として文書化はしていない
4. 文書化の準備中である
5. 文書化する予定はない

問5 問2でお答えいただいた情報把握範囲において、全体での環境目標を設定し、それに沿った環境計画を作成していますか。(1つに )

1. 情報把握範囲すべてにおいて、環境目標と計画を作成している
2. 情報把握範囲の一部で、環境目標と計画を作成している
3. 作成していない

問6 環境問題に取り組むための部署または担当者を置いていますか。(1つに )

1. 専門担当部署がある
2. 専門ではないが担当部署があり専任者がいる
3. 専門ではないが担当部署があり兼任者がいる
4. 担当部署はないが、特別な委員会などがある
5. 担当部署はない

問7 環境に関わる問題を統括する役員がいますか。(1つに )

( )環境を担当することが明示された役員を意味します。

1. いる
2. いない

問8 地球環境問題に関する従業員の自覚を高めるための教育・研修について、どのような取り組みを行っているか、お答えください。(該当するものすべてに )

1. 全従業員を対象として、定期的に行っている
2. 特定の階層の従業員を対象として、定期的に行っている
3. 特定の部署の従業員を対象として、定期的に行っている
4. いずれも定期的には行っていない

1. 2. 3. と答えた場合、具体的な内容をご記入ください。

--

問9 環境監査の実施状況についてお伺いします。ISO14001の認証取得に限らず、自主的なものも含めてお答えください。(1つに )

1. 定期的の実施している
2. 定期的ではないが実施している
3. 実施の準備中である
4. 実施していない

### 【環境会計】

問10 環境保全に関わる費用と効果を定量的に把握していますか。(1つに )

1. 環境省「環境会計ガイドライン」に準拠して、環境会計を導入している
2. 自社独自の方法または業界の定める方法で、環境会計を導入している
3. 貨幣換算はしていないが、環境保全効果について物量把握している
4. とくに把握していない

## コミュニケーション

### 【環境情報の開示】

問11 環境報告書(CSR報告書、RC報告書、サステナビリティレポートなどを含む)を発行していますか。

1. 発行している 以下に最新版の正式名称をお書きください。サイトレポート、環境データ集などの別冊を発行している場合も、列記してください。また、ディスクロージャー誌に環境・CSR関連記述を掲載している場合は、問12の5.に をつけてください。

( )なお主要なものを印刷物として発行されている場合、お手数ですが別途ご送付ください。  
すでにご送付頂いている場合は結構です。

2. 発行していない **問12へ**

問11-1 [問11で1を選択された場合のみ対象]環境報告書作成にあたっての、第三者(専門家、環境NPO、環境専門機関など。外注先は除きます)の関与についてお伺いします。(該当するものすべてに )

1. 環境報告書の作成過程において第三者の意見を取り入れている
2. 外部公表前に、第三者のレビューを受け、その内容を公開している
3. いずれもない

問12 環境報告書以外に、各ステイクホルダーに対して、どのように環境に関する情報を公表していますか。  
(該当するものすべてに )

1. 自社独自の環境ニュースを発行している
2. マスコミを通じてプレスリリース、広告、記事を発表している
3. 「環境報告書を読む会」を開催している
4. 社内外から参加できる環境セミナーなどを開催している
5. 会社案内、ディスクロージャー誌、アニュアルレポートなどで概要を公表している
6. 環境に関する情報は公表していない

### 【地域社会などとのコミュニケーション】

問13 地域に営業所、事務センター、サービスセンター、研究所などがある場合の地域社会との環境コミュニケーション活動についてお伺いします。

1) 地域に営業所、事務センター、サービスセンター、研究所などがありますか。(1つに )

1. ある
2. ない **問15へ**

2) [問13-1で1を選択された場合のみ対象] 地域社会とどのような環境関連の交流やコミュニケーション、協働活動を行っていますか。(該当するものすべてに )

1. 地域住民・NPOなどを対象とした意見交換会などを定期的で開催している
2. 必要に応じて地域住民・NPOなどを対象とした意見交換会を開催している
3. 地域の環境保護を目的とする団体に加入している
4. 地域の環境保護団体への寄付を行っている
5. 従業員が地域の環境美化・清掃活動などに参加している
6. 地域住民や従業員の家族も対象とする環境イベントを開いている
7. 地域の子ども向けの環境教室や見学会を行っている

- 8. 環境問題に取り組む地域団体や市民対象の表彰制度を実施している
- 9. とくに行っていない

問14 環境NPOや環境専門機関との継続的な対話や連携などがある場合は、具体的にご記入ください。

## 環境パフォーマンス

### 【環境負荷の把握と改善】

オフィス(本社・支社・関連会社ビル)、事務・サービスセンター、研究施設、店舗などにおける日常的な環境負荷(インプットとアウトプット)に対する取り組みについてお伺いします。

問15 エネルギー消費など、インプット面での日常的な環境配慮を実践されていますか。

(該当するものすべてに )

- 1. 空調の適温基準を定めている
- 2. 空調を必要な区域・時間に限定して管理している
- 3. 照明スイッチのON-OFFを個別に行っている
- 4. 電気・ガス料金の節約目標を定めている
- 5. 節水に努めている
- 6. 会議用資料や事務手続書類の簡素化とペーパーレス化に取り組んでいる
- 7. コピーやパソコンからのプリント量の節約目標を定めている
- 8. 業務用車両の燃料消費の節約に努めている
- 9. とくに行っていない

問16 大気および水域・土壌への排出など、アウトプット面での日常的な環境配慮を実践されていますか。

(該当するものすべてに )

- 1. 使い捨て製品(紙コップ、使い捨て容器入りの弁当など)の使用や購入を抑制している
- 2. 詰め替え可能な製品の利用や備品の修理・使い直しなどにより、長期使用を進めている
- 3. 店舗、食堂などから出る生ごみの減量に努めている
- 4. 業務用車両のドライバーに対し、アイドリングストップなどのエコドライブの実践を指導している
- 5. 屋内外での塩素系薬剤、殺虫剤、除草剤などの使用の削減に取り組んでいる
- 6. とくに行っていない

問17 事業活動に伴って排出される産業廃棄物および一般廃棄物の量を把握していますか。(1つに )

- 1. 排出量を把握し、公開している
- 2. 排出量を把握しているが、公開していない
- 3. 把握していない **問19へ**

問18 2004年度と2007年度を比較して、排出状況に改善はみられましたか。1)2)については総量で、3)については総発生量に占める比率での改善状況をお答えください。

1) 廃棄物総発生量(1つに )

- 1. 改善された
- 2. 改善がみられなかった
- 3. 把握していない

第7回(2008年度)

- 2) 最終処分される廃棄物の量(1つに )
  - 1. 改善された
  - 2. 改善がみられなかった
  - 3. 把握していない
- 3) 再使用・再生利用される廃棄物量の比率(1つに )
  - 1. 改善された
  - 2. 改善がみられなかった
  - 3. 把握していない

問19 省資源のための取り組みや、排出物・廃棄物の減量化・環境汚染の防止の取り組みがありましたら、主要なものを具体的にご記入ください。

**【グリーン購入・グリーン調達】**

- 問20 グリーン購入への取り組み状況についてお伺いします。(1つに )
- 1. グリーン購入ネットワーク(GPN)のガイドラインに則し、グリーン購入を行っている
  - 2. グリーン購入法の規定に基づく「基本方針」に沿って、グリーン購入を行っている
  - 3. 独自の指針に沿って、グリーン購入を行っている
  - 4. グリーン購入にはまだ取り組んでいない **問21へ**
  - 5. わからない **問21へ**

問20-1〔問20で1~3を選択された場合のみ対象〕事務用品やパソコン、照明器具などのグリーン購入額の比率を具体的にご記入ください。  
・2007年度実績で およそ( % )

- 問21 製品・サービスの提供のために使用する部品、材料、製品あるいはサービスなどのグリーン調達への取り組み状況についてお伺いします。(該当するものすべてに )
- ( ) コンピューターシステムの調達、商品仕入れ、情報サービスの利用など、有形・無形に関わらず製品・サービスの調達を対象とします。
- 1. グリーン調達に関するガイドラインを作成し、グリーン調達を行っている **問21-1へ**
  - 2. 取引先に対してグリーン調達に関する説明会などを開催している
  - 3. グリーン調達にはまだ取り組んでいない
  - 4. わからない

問21-1〔問21で1を選択された場合のみ対象〕グリーン調達額比率を具体的にご記入ください。  
・2007年度実績で およそ( % )

**【リサイクルへの対応】**

- 問22 自治体ごとの清掃事業方式を踏まえたうえで、資源ごみの社内分別ルールを徹底されていますか。(1つに )
- 1. 全社的に徹底している
  - 2. 徹底していない **問23へ**

問22-1 社内分別ルールにしたがったリサイクルの取り組みについて、お伺いします。

(該当するものすべてに )

1. 自社内で回収した資源ごみが適正にリサイクルされるよう確認している
2. 回収した資源ごみをリサイクルした再生品の社内利用を進めている
3. コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収とリサイクルを進めている
4. 店舗、食堂などから出る生ごみのコンポスト化を行っている
5. とくに行っていない

問23 自社内のリサイクルに関する特徴ある取り組みで、問19の記述以外のものがありましたら、具体的に3つまでご記入ください。

### 環境配慮・環境ビジネス

#### 【製品・サービスへの環境配慮】

問24 製品・サービスの設計・開発段階における環境配慮への取り組みについてお伺いします。

(該当するものすべてに )

1. 環境配慮型製品・サービスについて、社内の基準やガイドラインがある
2. 環境配慮型製品・サービスの設計・開発を行っている
3. とくに行っていない

#### 【環境ビジネス】

問25 御社の投融資、保険、リースなどの業務において該当するものをお答えください。

(該当するものすべてに )

1. 投資・融資業務にあたり、環境面からの審査(環境リスク評価)を行い、審査結果で投融資の規制を行っている
2. 投資・融資業務にあたり、土壌汚染対策法への対応を行っている
3. 金融商品に省エネ設備、省エネ住宅への融資枠や金利優遇制度、保険料やリース料の割引を盛り込んでいる
4. 事業者や個人向けに、低公害車に対して導入のローン、保険料やリース料の割引を扱っている
5. 各種エコファンド商品を販売している
6. 通帳や証券、契約書、パンフレット、ノベルティなどにエコマーク取得品など、環境配慮製品を導入している
7. a)再生可能なエネルギー、b)環境浄化、c)森林再生いずれかへのプロジェクトファイナンスを行っている
8. リース終了物件について、再リースや販売などの適正処理を行っている
9. リース終了物件について、リサイクル率の向上に努めている
10. 環境配慮型の製品のリースについては、リース料を優遇している
11. 温室効果ガスの排出権取引ビジネスや関連商品を扱っている
12. 環境リスク保険を扱っている
13. とくに行っていない

問25-1 問25で を付けた項目について、具体的な金融商品名やサービス名を3つまでお書きください。

(該当番号: )
(該当番号: )
(該当番号: )

**【取り組みの改善】**

問26 過去1年間に、環境への取り組みに関する改善事例がありましたら、具体的にご記入ください。

--

**【自由記述】**

問27 その他、環境への取り組みに関連して、これまでの質問には含まれない、あるいはこれまでの質問では十分に反映されないお考え、制度、アピールしておきたい点などありましたら、ご自由にお書きください。

--

～ご多忙のところ長時間にわたり、ご協力ありがとうございました～

お手数ですが、環境の取り組みに関する関連文書、報告書などがありましたら、別途ご送付いただきたく、重ねてよろしくお願い申し上げます。
---